

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成31年2月14日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4671300236
法人名	社会福祉法人 百合砂
事業所名	グループホーム 百合砂
所在地	鹿児島県西之表市西之表6095番地 (電話) 0997-22-1330
自己評価作成日	平成31年1月4日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成31年2月2日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

自然に囲まれ海まで歩いて行けるところにあるグループホーム百合砂には、地形を生かした広い中庭があり、散歩をしたりお茶を飲んだりしてくつろげる空間となっています。
あたたかいゆったりとした雰囲気の中で入居者が「自分が大切にされている」と感じていただけるような支援に努めています。
地域行事に参加したり、買い物やドライブ、認知症カフェなどに出掛け、ふれ合いや喜び・楽しみの時間を持つとともに、地域に開かれたグループホームを目指しています。
地域の人たちやご家族から旬の食材など心のこもった差し入れをいただいたり、スタッフも持ち寄りして、食卓には地元の料理が多く登場します。季節を感じながら慣れ親しんだ味で、お腹も心も満たされるような、食べる楽しみを支援しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・地域の行事の運動会や祭りの参加・幼稚園児や団体の慰問が多い。食材の差し入れや花の苗が届いたり、「百合砂祭り」には地域内外から多くの参加者があり交流が図られている。
- ・職員は温かな雰囲気の中で「入居者は自分が大切にされている」と感じられる支援に努めている。管理者を中心にコミュニケーションを図り、自己研鑽しており家族から信頼関係も厚い。管理者は資格取得にも協力的である。
- ・家族との連携は家族交流会を設けて家族と食事会で意見や要望を聞いて運営に反映させている。家族の宿泊も受け入れ入居者の絆を大切にしている。
- ・事業所は実習生の受け入れや認知症の話をしたり2ヶ月毎に認知症カフェにも出かけ交流をもち、認知症の人や家族の悩みを傾聴し支援に努めている。
- ・職員のスキルアップに対する意欲も高く、研修会の参加や資格取得についても積極的に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	管理者・職員で理念を共有し日々の支援でも声掛け確認し、理念に基づいた支援ができる様に努めています。	地域密着型サービスを踏まえた理念があり、その人らしく笑顔で集える家庭的なケアを支援している。ホールやトイレに掲示しパンフレットに掲載し毎月の便りにも載せている。ミーティングで振り返り、ケアの実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域行事と一緒に参加したり、普段の散歩の途中でも地域の方々とお会いたした時にも気軽に声を掛けて交流が図れるよう支援しています。	ドライブを計画して桜見や実家に行ったりしている。法人主催の「百合砂祭り」には多くの外部参加者があり地域の交流の場になっている。2ヶ月に1回は認知症カフェに出かけて、家族とも関わりを持って支援している。ボランティアの慰問や地域の協力・野菜の差し入れ等があり、日常的に地域と交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	見学や実習生の受け入れを行い認知症についての簡単なお話をさせて頂いています。2か月に一度認知症カフェにも出掛け交流を持ち認知症の人や家族の悩み等を傾聴し、支援に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1回運営推進会議を開催し、入居者の状態や運営の状況を報告し、委員の方々からの意見を頂きながらサービスの向上に活かしています。</p>	<p>2ヶ月毎に実施している。行事・活動報告・利用者の状況・事故報告等を報告し、地域の情報や提案なども出され意見交換している。津波避難訓練の意見が出されたり認知症についての時間を設けたり、サービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議に市職員の方にも参加して頂き、アドバイスなどを頂きながら協力体制を築くよう取り組んでいます。日常的にも疑問等ある際は電話や直接出向き協力を仰いでいます。</p>	<p>電話や出向いて書類の申請や事故報告・事業所の現状を話し、相談やアドバイスを貰っている。運営推進会議にも毎回参加があり、協力関係を築いている。市主催の研修会には積極的に参加し連携を取っている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>法人内の身体拘束防止委員会で毎月身体拘束の事例を持ち帰り、ホーム内でのミーティングで話し合い職員全体で身体拘束の防止への理解を深めています。日常のケアでも疑問に感じた時は、その都度話し合いを行っています。</p>	<p>法人で毎月、身体拘束防止委員会を開催し参加している。事例を持ち帰り、ミーティングで伝達講習して職員間で共有を図り言葉の拘束も含め、拘束をしないケアに取り組んでいる。マニュアルもある。日中は玄関の施錠はしていない。外出したい時は一緒に散歩したり、家に帰りたいた時は、ドライブして立ち寄っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	日常的に、虐待については都度話し合う場を作ったり、ミーティング等で職員の言葉使いや表情、接する態度などについても話し合ったりして虐待防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	法人内の勉強会で権利擁護について学ぶ機会を持ち、知識を深められるようにしています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時に詳しく説明をし、同意を得ています。疑問がある場合はその都度納得出来るまで説明して、不安がないように努めています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会の際や、お電話のあった時、またお手紙等普段から何でも言える環境作りに努めています。直接言いにくいことなど玄関窓口意見箱を設けて対応に努めております。	利用者とは日常のケアの関わりの中で思いを把握している。家族とは面会の時や家族交流会の時に意見を聞いている。宿泊される家族もいて、ゆっくりとした時間がもてている。家族会を計画している。出された意見は運営に反映している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	普段から職員が意見や提案を言いやすい環境作りに努めています。日々の申し送りやミーティング等でも機会を設けてそれを協議し反映出来るよう努めています。	意見が言いやすい環境であり、パソコンの掲示板に打ち込んだり、申し送りやミーティングの時に話し合っている。ケアに関する事が多いが備品購入や設備の件は、管理者が本部に報告し職員の提案を反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員の個々の意見や提案の把握に努め、必要な時は個別面談を行っている。また月一度の運営会議に参加し職場環境の整備、改善に努めて職員が向上心を持って働けるように努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内での勉強会や、社協などが行う外部研修にも参加し、その資料や報告書を共有し、職員一人ひとりの技術・知識の向上に努めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人外が行う研修等を通じて、同業者との交流が図れる機会を設けています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前の情報収集を元に必要なニーズの把握に努めご本人の不安を解消出来るように努めています。意見、要望等、日常生活の中でさり気なくお聞きし信頼関係を築くように努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初期の相談時、ご家族と十分に話し合いを持ち、要望や不安な事等をお聞きしています。入居後も面会時や電話等で日常の様子をお伝えしいつでも相談出来る様な雰囲気作りに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居者・ご家族との面談に十分に時間をかけて、ニーズへの対応を他のサービス利用も視野に対応出来るように努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来る事はして頂き、入居者と職員は同じ目線に立って、暮らしを共にする者同士として接しています。入居者様の意見を貰ったり手伝って頂いたりしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月のお便りで入居者様の状態や運営の状況をお伝えしています。面会時やお電話等でご家族の意向を伺い共に支え合う立場である事を理解して、ご家族との絆を大切に支え合えるよう努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	気軽に知人の面会や地域の方々の慰問等を受け入れたり、ドライブで自宅まで帰られたり、お墓参りに行かれたりして馴染みの場所や人との触れ合いが途切れないようにしています。	地域の知人や友人の訪問が多くゆっくり話をしている。職員と一緒に買い物に行ったり、美容室や墓参りに同行して馴染みの人や場との関係が途切れないようにしている。年賀状も一緒に作成している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者一人ひとりの個性を尊重しながら、入居者同士、お互いを思いやれるような環境作りに努めています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了したご家族とも、外出時にお会いした時等は、気軽に声を掛けたり、困っていることがないか尋ねたりしています。退居の後に窓拭きに来て下さった方もいました。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	希望や意向を尊重し、それにそった生活が送れるように支援しています。困難な場合はご家族に相談しながら検討を行い支援できるよう努めています。	利用者へ思いや意向を時間をかけて話かけ、課題を捉えケアプランに活かしている。利用者の言葉通りに記録している。意思疎通が難しい場合は昔の事を話したり、家族に相談して本人の意向に沿うように対応している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時の本人様やご家族、担当ケアマネを通じて生活歴や健康状態、利用状況の把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	その人の生活リズムや過ごし方を把握し、出来る事、したいことに応じて無理のないように過ごして頂けるように努めています。小さな変化にも気づき共有するよう努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	現状に即した介護計画作成の為本人やご家族の意見を反映させよりよい生活が出来る様に努め、またモニタリングでの意見やアイデア等検討し介護計画を作成しています。	本人や家族の意向を確認し、職員からの意見を聴き、担当者会議で主治医の意見を入れて介護計画を作成している。毎月の評価とモニタリングを行い、状況に変化があった時はその都度見直しして、現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録は、日々生活や変化が把握できるように具体的に記録し、変化があった場合などは申し送りをして情報共有に努め、介護計画の見直しに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	外出、外泊、通院、買い物等利用者のニーズに対応して、既存のサービスに捉われないその時の状況にあったケアを実践する様に努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	定期的にボランティアの慰問、地域の小学校、幼稚園との交流を行っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	法人内の診療所がかかりつけ医になっている。月に2度の往診もあり利用者の変化や健康面での心配事がある場合相談しています。希望の医療機関も継続して受診できる様支援しています。	法人内の診療所がかかりつけ医になっている。月2回の往診がある。受診の時は家族と職員が同行している。訪問看護は24時間体制であり、適切な医療を受けている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	1週間に1回の訪問と24時間対応の訪問看護師等に相談し適切な受診や看護を受けられるように支援しています。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院時には、職員が面会に赴き安心して頂けるよう配慮したり、病院関係者との情報共有に努めている。早期退院に向けて連携しながら体制を整えるようにしています。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	ご家族の意向を伺い、主治医や医療関係者との連携のもと、全員で方針の共有に努めています。看取りについての指針や同意書も作成しています。	重度化や終末期に向けた方針は入居時に本人・家族に説明している。状態が重度化になる段階で特別養護老人ホームに希望する利用者もあり、主治医や関係者と話し合いを重ね、方針を共有している。看取りの指針があり看取りの事例がある。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	隣接する苑の看護師による緊急事態への対応の勉強会を実施したり、マニュアルを備えて急変や事故発生に速やかに対応出来るようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回避難訓練を実施しています。地域の代表に協力体制をお願いしています。隣接する苑での地域を交えての避難訓練や机上訓練にも参加し地域との協力体制を築いています。</p>	<p>年2回昼夜想定で避難訓練を実施している。地域の代表に協力体制を依頼している。隣接する施設や地域を交えての避難訓練に参加して地域住民との協力関係を築いている。消防団の指導も受けている。緊急連絡網もある。避難所の確認などを行っている。備蓄は水・ご飯・缶詰等がある。おむつやカセットコンロ・防災グッズ等も用意している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
あがある。					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々の生活歴を尊重し、言葉掛けや対応等に配慮しています。職員は他の家族や外来者に対して個人情報をお話さない事を徹底しています。	マニュアルを作成している。利用者一人ひとりの人格を尊重することを、ミーティングで話し合い、言葉かけや対応について勉強している。法人の勉強会には全員参加している。失禁時はさりげなく入浴介助、トイレのドアの開閉等、気配りをしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	その方の発するシグナルに気づきその方にあつた対応を職員間で共有し、入居者が希望の表出や自己決定が出来るように支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ひとりひとりが主である事を念頭に置きながら、その人のペースで生活出来る様に支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	日々の服装などご自分で選べる方は選んで頂いています。季節に合わせた服装や、化粧品等ご家族の協力頂をいたりすることもあります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	イベント時や簡単な料理等、時には産地の食材を使い食事の準備、片づけ等出来る事はしています。食事を楽しんで頂くよう個々にあった食事形態や希望のメニューを聞いたりして提供しております。	嗜好や形態に配慮して献立を作成している。行事食や誕生会・敬老会は好みのメニューで楽しい食事になるよう配慮している。差し入れもあり、エンドウ豆の皮むきやネギの下ごしらえ等、職員と一緒に楽しく作業している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分摂取量のチェックを毎日し、把握に努めています。一人ひとりの状態に合わせて食事形態を変え対応しています。栄養面を考慮しながら献立を工夫しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に一人ひとりの状態に合わせて声掛け口腔ケア行っています。口腔内確認をし必要な際は歯科往診を受けられる支援をしています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを把握し、声掛けや誘導でトイレにて排泄が出来る様支援しています。食材を工夫して気持ちよく排泄出来る様にしています。	日中はトイレへの誘導をしている。ほとんどの利用者がトイレでの排泄である。夜間のみポータブルトイレやオムツ使用がある。食事にも配慮して、便秘にならないように工夫している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々の状態に合わせてこまめな水分補給をしたり、乳製品や繊維の多い物を提供して便秘解消に工夫を凝らしています。薬による排便を実施せざるを得ない方もいます。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	健康状態を把握しながら、入浴の意向を聞き対応してします。気分の乗らない方には時間や日をずらす等、無理強いしない声掛けに努めています。	入浴は週に2回を目安にしているが、柔軟に対応している。足浴や清拭にも対応している。入浴を拒む利用者には順番を変えたり、時間のタイミングで声かけしながら無理なく入浴を支援している。清潔な環境で楽しい入浴ができるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活リズムを大事にし自由に休養出来るようにしています。状況に合わせて見守り安心して気持ちよく眠れるように支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の目的や副作用については処方箋を薬箱の近くに置きいつでも見れるようにしています。処方に変更があった際は職員間で情報共有し対応しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>日々の生活の中でひとりひとりの得意な事、出来る事をして頂く機会を作り楽しみや張り合いを持って生活される様支援しています。日々の会話の中でも感謝の言葉をお伝えし、喜びのある支援をしています。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>体調、天候を考慮しながら散歩やドライブ、隣接している苑での慰問、地域行事、希望のある際利用者宅やお墓詣り等外出を支援しています。</p>	<p>敷地内には芝の散歩道があり何時でも気軽に外出できる環境である。隣接する特別養護老人ホームに出かけたり、地域への訪問も日常的にできている。花見にも出かけたり、初詣や地域芸能の見物や生け花を見に行ったりしている。隣接の苑に慰問があれば、踊りや大正琴等の見物に行っている。家族と外出することもあり買い物や墓参りに出かけている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>普段は殆どの方がお金の管理が出来ない為事務所で管理しており買い物等の時にお金をお渡しして使ってもらっています。ご自分で持たれている方にはノートをお渡ししメモをして頂き希望の物があれば購入して頂いています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	電話は要望があれば支援行っています。手紙を書く機会は少ないですが、年賀状などイベントの時は支援しながら手書きでお便りしています。携帯を持たれている方もおり自由に電話出来る様支援しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節を味わって頂けるよう季節の花や植物を飾ったり、時期にあった飾りつけを工夫しています。音や光の刺激が強くない様布やすだれを使用したり水槽も設置し癒しの場になる様に工夫している。	天井が高く広くて圧迫感がない。リビングにはソファやマッサージ機があり、ゆっくりした時間が流れている。季節感のある飾り付けや花も置かれている。空気清浄機と加湿器の一体型が設置してあり空気の流れが快適である。テーブルも席替えをしたり利用者が好きに過ごせるように配慮がある。布のすだれや熱帯魚の入った水槽が癒しになっている。台所からは利用者の動きが良く見えて、家庭的な空間である。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テレビやソファ、テーブルの位置を工夫し気の合った方同士で談笑したり、落ち着かれる場所に行って座ったり出来るようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時は自宅で使用していた家具等を持ち込んで頂き、使い慣れたもので居心地よく生活が出来る様にしています。好みの物や模様替えの要望があればご家族の協力も頂き支援しています。	エアコンやベッドが設置してある。家から持ち込まれた家具やタンス・テレビ・仏壇・写真・小物等が置かれて家での暮らしの延長のような設営である。手すりも設置されて安全で居心地よく過ごせるように工夫されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々の身体状況に応じ、ベッドの高さを調節したり、家具等の配置を変えたりして工夫しています。トイレや浴室、居室にも手摺をつけ必要に応じて専門家と相談して調整しています。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない